

平成22年度第2回宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員会 会議録

- 1 日 時 平成23年2月24日(木) 午後2時～午後3時30分
- 2 場 所 宇都宮市立東図書館 2階 集会室
- 3 出席者
〔委員〕 大金 武夫委員, 小谷 和弘委員, 山口 康夫委員, 山口 京子委員,
小林 充佳委員, 石川 賢委員<6名>
※欠席: 山荷フサ子委員, 大塚千枝子委員, 増田 宗夫委員,
手塚 好子委員 <4名>
〔事務局〕 福田視聴覚ライブラリー所長ほか職員4名
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 なし
- 6 議 事
(1) 報告事項
①平成22年度視聴覚ライブラリー利用状況(経過報告)
②平成22年度視聴覚ライブラリー事業実績(経過報告)
(2) 協議事項
①平成23年度視聴覚ライブラリー運営目標(案)
②平成23年度視聴覚ライブラリー事業計画(案)
(3) 委員提案事項
(4) その他

7 発言の要旨

委員長: (1) 報告事項「①平成22年度視聴覚ライブラリー利用状況(経過報告)」及び「②平成22年度視聴覚ライブラリー事業実績(経過報告)」について、関連があるので、一括して事務局より説明をお願いします。

事務局: 【資料に基づき一括して報告】

委員長: ただいま、1月31日現在の利用状況及び実績について、16ミリフィルムの利用は全国的にはトップクラスだが、ここ数年は減少ぎみ、同じくVHSビデオフィルムも同様に減少傾向。一方、DVDの貸出は液晶プロジェクターやDVDプレーヤーなど関連機材とともに増加している。また、スタジオやパソコン室などの施設利用は年々増加しており、使用料歳入が増加しているなどの説明がありました。

何か不明な点、質問等ありましたらお願いします。

山口(康)

委員: 本市は16ミリフィルムの貸出実績が高く、他市の視聴覚ライブラリーから

フィルムの寄贈も多いと聞いているが、寄贈する側の理由はどのような事なのか、新たなフィルムの入れ替えや新規事業に切り替えるため、古い16ミリの教材を寄贈するのでしょうか。

事務局： 貸出事業を縮小する、廃止するあるいはライブラリー設置自体を無くしてしまうというケースが全国的に見れば主な理由となっています。

本県でも23年度からライブラリー施設が一つ廃止される予定であり、財政状況も厳しい中ではありますが、本市では良質なフィルムは積極的に受入れ、利用拡大に結び付くよう心掛けています。

専門知識を必要とする業務であり、本市ではこの実績を基に更に発展していくため、利用者ニーズを把握しながら、利用者にどうしたら喜ばれるのかを視点に取り組んでおります。

山口(康)

委員： 3Dのテレビ、ビデオなど新たな技術への対応に向け、記録や編集できる機材の整備なども必要になってくるのではないですか。

事務局： 賃貸借で整備している「教材制作用ビデオ編集システム」が本年度更新時期を迎えたが、その中の機材の一つとして、新たに3D対応のテレビとメガネを導入したところであり、実際には、中学生を対象とする「宮っ子チャレンジ」で体験させています。また、ビデオ教材の制作においても各学校に配備された50インチテレビに対応できるようなサイズに編集するなど、便宜を図っております。

事務局： 視聴覚機器・機材の発展は急激であり、これに対応できる教材も併せて整備していく必要があります。厳しい財政の中、古い機材の適正維持管理も必要であるし、新しい機材の整備も当然必要になるので、急速な変化の中、その両方のバランスと利用者ニーズを見極めながら最大限の満足を得られるよう心掛けて行きたいと考えています。

委員長： 他に何か質問はありますか。

各委員： (特に発言等無し)

委員長： 特になければ、続いて(2)協議事項「①平成23年度視聴覚ライブラリー運営目標(案)」及び「②平成23年度視聴覚ライブラリー事業計画(案)」について、関連があるので、一括して事務局より説明をお願いします。

事務局： 【資料に基づき一括して協議事項2件の案説明】

委員長： ただいまの平成23年度の「運営目標(案)」及び「事業計画(案)」について、何か不明な点、質問等がありますか。

小谷委員： 市主催や映写ボランティアが主催で開催する、映画会は行事として定着し、年々人気の様子ですね。

事務局： 上映できる権利付の良質な人気作品が邦画・洋画共にここ数年発売され、当ライブラリーでも購入に努めてきたところです。子どもから高齢者まで各種映画会でこれらの作品を提供しており、毎回沢山の方々に映画会においていただいています。

本日の会場であります集会室で開催する「20 世紀名画座」は、観覧し易いよう、日本語吹替版を上映しています。

また、近年の名作を賃借にて用意し上映する「名画鑑賞会」は、350 名収容の東市民活動センターのホールで行っています。

事務局： 映画会は市のホームページや広報紙で周知しているほか、下野新聞でも取り上げてくれましたことから、本市民だけでなく周辺市町の方からの問い合わせもあるなど広がりを見せています。市民の方が原則だが余裕があれば拒まず対応させていただいています。

なお、補足ですが、12 ページ資料 4「事業計画（案）」の講座・研修「パソコン活用研修」につきましては、主催事業として従前から実施し、開始当初はワード・エクセル等基本的な内容を幅広く行っていました。受講者のここ数年のパソコンに対する知識の向上や受講者ニーズから、前年度より事業を見直し、テーマを「パワーポイント」に絞り実施しており、好評につき 23 年度もこの方針で取り組んでいきたいと考えております。

石川委員： 以前この会議で将来に向けた取組みということで、ビデオ教材などをインターネットを活用し、学校等で直ぐ見られるような「オンデマンドシステム」について研究できないか、質問しましたが、その後、何か進展はありましたか。

事務局： 経費的にも技術的にも大掛かりであり、今後研究させていただくとご返答させていただきました。その後、今後のビデオ教材の制作について、市教育センター等と協議した中で、センターでは、市内の教員を委員に理科、社会の「デジタルコンテンツ作成委員会」を設置し、情操教育における学習支援として、地域素材を対象としたデジタル教材を作成し、各学校に配信する事業を行っており、学校ではパソコンとテレビを媒介に授業で活用できるシステムになっております。私共のビデオ制作と手段が異なりますが、今後、ビデオ教材の作成・活用という共通の立場で協議して参りたいと考えております。

石川委員： 前もっての予約でなく、オンデマンドで取り出せれば、授業での活用に便利であり、教育センターでそのような事業を実施しているのならライブラリーも連携を深めてほしいと思います。機材の貸出増にも反映すると考えられます。学校に配布したビデオの活用回数は実績に含まれていないわけだし、もっと多くの利用数が潜在的にあると思われれます。

事務局： 先日、ビデオ制作委員会の委員の先生と話す機会がありましたが、テレビは各教室に配備されたが、パソコンの台数がまだ十分でない学校が多い上、オンデマンド利用は、接続等も含めパソコン機器の操作が不慣れだと面倒くさい、とのことで DVD、VHS を活用するケースも多く、使い分けを考えていく必要を感じました。

石川委員： 財政も厳しい中、今あるライブラリー資源を有効利用してほしいと思います。

委員長： 他に何か質問はありますか。

各委員： （特に意見等無し）

委員長： それでは、ご意見等が無いようですのでお諮りいたします。平成 23 年度の「運営目標」と「事業計画」につきまして、原案どおり承認してよろしいか、伺います。

各委員：（異議無しの声）

委員長： それでは、本件につきまして、原案どおり承認いたします。

委員長： 続いて、（3）「委員提案事項」に移らせていただきます。

ライブラリーの運営や事業などに対するご提案あるいはご意見をいただければと存じます。

各委員：（特に意見等無し）

委員長： 無ければ、次の「（4）その他」に移ります。

委員の皆様及び事務局から何かありますか。

各委員：（特に意見等無し）

委員長： 事務局から何かありますか。

事務局： 次回会議の開催日程ですが、当ライブラリー運営委員会は年間2回の会議を予定しており、例年、委員長と協議の上決定しておりますが、23年6月30日をもって委員の皆様の2年の任期が満了となりますので、新委員のご委嘱と併せ調整いたしたいと存じます。

委員長： 次回の会議につきましては、委員の任期満了もありますので、事務局の調整におまかせしたいと思いますがよろしいでしょうか。

各委員：（「結構です。」との声あり）

委員長： 他に何かありますか。

事務局： ご相談ですが、本日、折角の機会でもあり、委員の皆様にお時間があり、ご希望があれば、会議閉会后、当ライブラリーが作成いたしました平成22年度視聴覚ライブラリービデオ教材制作委員会 小学校理科部会制作の『宇都宮の地層』と『平成23年成人式 市長祝辞』のDVDを視聴いただければ、と存じますがいかがでしょうか。

委員長： 委員の皆様いかがでしょうか。

各委員：（視聴希望有り）

委員長： それでは、他に無いようですので、以上を持ちまして本日の「視聴覚ライブラリー運営委員会」を閉会いたします。

長時間にわたり、熱心なご審議をいただき誠にありがとうございました。

<閉会后、DVD 視聴>

- ① 平成22年度視聴覚ライブラリービデオ教材制作委員会 小学校理科部会制作『宇都宮の地層』（11分）
- ② 『平成23年成人式 市長祝辞』（6分）